

農研機構シンポジウム・チャの有機栽培における課題と研究開発の現状と展望 開催要領

1. 趣旨

令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」が策定されたことを受け、農研機構果樹茶業研究部門を中核とした茶スマ農有機コンソーシアムにより、令和4年度から農研機構生研支援センター・戦略的スマート農業技術等の開発・改良「茶のスマート有機栽培技術体系の開発と現地実証試験」に取り組み、チャの有機栽培の普及拡大に貢献する既存技術の改良と技術開発を進めると共に、その現地実証試験と体系化を進めてきた。本シンポジウムでは、本事業の研究成果ならびに有機茶栽培に資する情報をとりまとめて紹介すると共に、チャの有機栽培技術の開発の現状と展望について討議する。

2. 開催日時

令和6年11月21日（木）9:30～15:00

3. 開催場所

島田市民総合施設プラザおおるり ホール（静岡県島田市中央町5番の1）

4. 主催 茶スマ農有機コンソーシアム、農研機構果樹茶業研究部門

共催 「知の集積と活用場」未来茶業研究開発プラットフォーム

5. 参集範囲

茶スマ農有機コンソーシアム参画機関、生産者、国及び地方自治体行政・普及担当者、国立研究開発法人及び公設試験研究機関、関連企業、学術団体、当該技術にご興味のある方

6. 定員 300名

7. 参加申し込み

Microsoft Form を利用した web 形式で申し込みを受け付けます。

アクセス先：<https://forms.office.com/r/PYXhtqXyai>

申し込み期限：令和6年10月31日（木）

7. 日程

- 9:15 開場 (予定)
- 9:30 挨拶 農研機構果樹茶業研究部門 茶業研究領域長 佐藤安志
- 9:40 茶の有機栽培に関する情勢報告 農林水産省農産局果樹・茶グループ
- 10:00 茶のスマート有機栽培技術体系の開発と現地実証試験・研究概要
農研機構果樹茶業研究部門 吉田克志
- 10:20 茶園における有機質肥料の利用
農研機構果樹茶業研究部門 廣野祐平
- 10:45 チャの有機栽培に活用できる害虫防除技術の開発と展望
農研機構植物防疫研究部門 萬屋宏
- 11:10 有機栽培におけるチャ病害防除技術
農研機構植物防疫研究部門 山田憲吾
- 11:35 ケースで見る有機茶販売モデルの特徴と課題～主要産地における地域的取組事例の比較から～
農研機構本部 企画戦略本部 農業経営戦略部 森嶋輝也
- 12:00 休憩
- 13:00 茶園用除草機の現地実証試験
農研機構果樹茶業研究部門 水上智道
- 13:25 みどり戦略における有機農業の普及拡大の取り組み
農研機構本部 みどり戦略・スマート農業推進室 豊島真吾
- 13:50 総合討論 茶の有機栽培を広めるために必要なこと
- 14:50 閉会挨拶
- 15:00 閉会

8. 問い合わせ先・事務局

農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室 茶業連携調整役 荻野暁子
〒428-8501 静岡県島田市金谷猪土居 2769
E-mail: cha-renkei@ml.affrc.go.jp TEL: 0547-45-4101

9. 茶スマ農有機コンソーシアム参画機関

農研機構果樹茶業研究部門、農研機構植物防疫研究部門、農研機構九州沖縄農業研究センター、株式会社寺田製作所、国立大学法人 静岡大学、静岡県農林技術研究所茶業研究センター、三重県、滋賀県、長崎県農林技術開発センター、鹿児島県農業開発総合センター、愛知県、埼玉県、福岡県農林業総合試験場、佐賀県茶業試験場、宮崎県総合農業試験場、有限会社ビオ・ファーム